



保育士
長船 侘奈

保育の中で大切にしたいこと

紫陽花が色鮮やかに咲く季節となりました。皆さま、お健やかに過ごしのことと思います。

私は、コアラ保育園に務めて今年で3年目となりました。コアラ保育園では、福田病院で働く職員のお子様をお預かりしています。入職して2年間は0歳児を担当し、今年度からは3歳児を担当しています。新年度になり、毎日子どもたちと一緒に過ごす中で、近くで成長を見られる事がとても嬉しく、やり甲斐を感じます。また、年齢によって子どものできる事も違うため、子どもへの関わり方や声の掛け方等、年齢に合った対応を心がけています。そして、私が保育にあたって大切にしたいことが4つあります。



1つ目は、子どもの個性を大切にすることです。子どもの個性とは、生まれ持ったもので、良いところだけではありません。苦手なところも含めて肯定的に受け入れる事で個性を尊重し、自己肯定感を育むことができます。どんなに小さなことでも、できた事や頑張った事は褒めて、自信に繋がるような言葉かけを心がけています。子ども達は褒められることが大好きです。褒められると、「次も頑張ってみよう」「挑戦してみよう」と次への意欲にも繋がります。子どもが出来なかったことも、それまで頑張った過程を褒めて、受け入れ、子どもが自信のつくような言葉掛けや、関わり方をしていきたいです。

2つ目は、保育園が安心できるような場所にする事です。保育園はお家の次に子どもたちが長い時間を過ごしている場所だと思います。コアラ保育園では1歳になられて入園されるお子様がほとんどで、少しずつ時間を延ばしていく慣らし保育があります。初めは慣れない環境に戸惑い不安で泣いてしまうお子様もいますが、保育士が優しく抱っこしたり言葉を掛けたり、スキンシップをとって信頼関係を築いていくことで、徐々に慣れていきます。保護者と離れて寂しい

時、寄り添い、安心できる環境と保育者がいれば子どもたちも安心して保育園で過ごせるようになります。また、子どもたちの興味が湧くような活動や年齢に合った玩具を用意する等の環境作りをすることで、保育園が楽しい場所だと感じてもらえるよう、試行錯誤しています。楽しく過ごせる遊びや環境を考え、保育園という場所が子どもにとってより良いものなるよう努めています。

3つ目は、子どもの小さな変化にも気付けるようにする事で



子どもに何かあった時、大きいお子さんは自分で言えますが、小さいお子さんは自分では言えません。子どもたちの命を守る為、子どもがケガをしたり、体調の変化がある時などすぐに気付けるように心がけています。ご家庭からも体調の変化やいつもと違う様子がみられた時には、口頭や連絡ノートを使って伝えて頂き家庭と園で情報共有を行なっています。また、子どもの雰囲気や表情、食事の量の変化、寝つきの良さ悪さなど普段から子どもの様子を知っておくことで、どう保育士が支援していくか考えるのも大切です。子どもたちの小さな変化も見逃さず、気づく事で早く対応出来る様に保育士間の情報交換や共通理解も大切にしています。



4つ目は、子どもの成長を促すことです。子どもの成長を促すために必要な事は、まず「遊び」です。子どもたちは「遊び」の中で多くの事を経験したり学んでいます。保育園では活動を決めてみんなで同じ遊びをする時間や、自由に自分の好きな遊びをみつけて遊ぶ自由遊びの時間があります。みんなで活動をする時は、導入といって子ども達が興味を持つようなお話や絵本、視覚的教材を使ってまずは興味を持てるように促し活動に入ります。また、保育園では集団で遊ぶ機会が増えるため、友だちや保育者と関わりながら遊ぶ中でコミュニケーション力を養ったり、集団の中でのルールを知ったり、遵守することを学んでいきます。自由遊びでは、自分が好きな玩具や遊びを好きな友達と自由に楽しんでいます。子どもたちが自分で選ぶことで、自主性を育み、友だちと遊ぶことで相手の気持ちを受け止めたり、自分の気持ちに折り合いをつけたりするなどのねらいがあります。また、環境づくりとして子どもが自ら選んで取り出せるような玩具の置き方、年齢や発達にあった玩具の使用、自由遊びの中でもルールを決めて、マットを敷いてその範囲で遊ぶ、室内は走ら

ない、座って遊ぶ等、決まりを守りながら好きな遊びが思う存分楽しめる様に環境を整えています。



この他にも保育をするにあたって大切にすべきことはたくさんありますが、なにより子どもたちが毎日楽しく保育園で過ごし、日々成長出来るよう、子どもたちと全力で関わっていきたいです。そして、保護者の皆さんが、安心して預ける事が出来るよう、職員一丸となって、頑張りたいと思います。